

[専門教育関連科目/健康と健康障害の理解]

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
薬理学	NSF22_003	必修	1	2	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
稲垣 昌博	教員控室	kango	Teams 授業中に対応		
授業の目的・概要	薬物治療を理解するため、薬物の体内動態を考慮して薬物と生体の相互作用を学び、薬物の主作用・副作用を理解する。更に、薬物の安全性や取扱いについても理解を深める。一部の内容は課題学習を通して理解し、解答と解説によりフィードバックを行うとともに、Microsoft Teamsによる講義時に意見交換を行い、理解を深める。				
学習上の助言	病態や薬効を自分自身でイメージして自分の言葉で表現する習慣を身に付けましょう。暗記に頼るのではなく、理解(納得)して記憶できるようにトレーニングしましょう。				
教科書	系統看護学講座「薬理学」疾病の成り立ちと回復と促進3 吉岡充弘 他/医学書院				
参考書	人体の構造と機能(第4版)/著:内田さえ 他/医歯薬出版(1年次に使用したもの)				
学生が達成すべき行動目標					
①	薬物の代謝について理解し説明できる。	NS(1)(4)			
②	薬物の作用と作用メカニズムを理解し説明できる。	NS(1)(4)			
③	薬物の安全性や取扱いについて理解し説明できる。	NS(1)(4)			
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	薬理学総論①:薬物の作用機序,相互作用,副作用 フィードバック:解答・解説の提示	印刷教材等での授業	課題:課題_薬理学の基礎_第1回 薬物のヒトに対する作用を基本的な薬物動態について、復習を十分行う。	4.5	
2	薬理学総論②:薬物動態(ADME),用量 フィードバック:解答・解説の提示	印刷教材等での授業	課題:課題_薬理学の基礎_第1回 薬物のヒトに対する作用を基本的な薬物動態について、復習を十分行う。	4.5	
3	抗感染症薬:抗生剤,抗菌薬,抗ウイルス薬 フィードバック:解答・解説の提示	印刷教材等での授業	課題:課題_薬理学の基礎_第2回 抗生剤・抗菌薬の作用・副作用に関して、復習を十分行う。	4.5	
4	消毒薬,抗がん薬:各種抗がん剤,分子標的薬 フィードバック:解答・解説の提示	印刷教材等での授業	課題:課題_薬理学の基礎_第2回 抗がん剤の作用・副作用と消毒薬の抗菌スペクトルに関して、復習を十分行う。	4.5	
5	抗アレルギー・抗炎症薬 フィードバック:解答・解説の提示	印刷教材等での授業	課題:課題_薬理学の基礎_第3回 アレルギー反応と炎症の機序に関して、復習を十分行う。	4.5	
6	漢方薬:漢方医学と有用性 フィードバック:解答・解説の提示	印刷教材等での授業	課題:課題_薬理学の基礎_第3回 代表的な漢方薬とその使用法の基礎に関して、復習を十分行う。	4.5	
7	3回目までの復習。総論(薬力学・薬物動態)	同時双方向授業	課題:課題_薬理学の基礎_第4回 6回目までの課題学習に関する基礎的問題練習を行い、復習を十分行う。	1.0	
8	3回目までの復習。各論(抗生剤,抗がん剤,炎症)	同時双方向授業	課題:課題_薬理学の基礎_第4回 6回目までの課題学習に関する基礎的問題練習を行い、復習を十分行う。	1.0	
9	末梢神経系作用薬,筋弛緩薬,局所麻酔薬	同時双方向授業	課題:課題_薬理学の基礎_第5回 神経系(末梢・中枢)に対する作用薬の基礎的問題に解答し、復習を十分行う。	1.0	
10	中枢神経系作用薬①:全身麻酔薬,麻薬性鎮痛薬,催眠薬,抗不安薬	同時双方向授業	課題:課題_薬理学の基礎_第5回 神経系(末梢・中枢)に対する作用薬の基礎的問題に解答し、復習を十分行う。	1.0	
11	中枢神経系作用薬②:抗精神病治療薬,抗うつ薬,パーキンソン病治療薬,抗てんかん薬	同時双方向授業	課題:課題_薬理学の基礎_第6回 中枢神経系に対する作用薬の基礎的問題に解答し、復習を十分行う。	1.0	
12	循環器系作用薬①:降圧薬,狭心症治療薬,強心薬,抗不整脈薬	同時双方向授業	課題:課題_薬理学の基礎_第6回 循環器系に対する作用薬の基礎的問題に解答し、復習を十分行う。	1.0	
13	循環器系作用薬②:利尿薬,血液凝固・線溶作用薬	同時双方向授業	課題:課題_薬理学の基礎_第7回 ヒト血液系に対する作用薬の基礎的問題に解答し、復習を十分行う。	1.0	
14	呼吸器・消化器・生殖系・泌尿器に作用する薬物	同時双方向授業	課題:課題_薬理学の基礎_第7回 中枢神経系に対する作用薬の基礎的問題に解答し、復習を十分行う。	1.0	
15	代謝性作用薬:ホルモン,ビタミン	同時双方向授業	課題:課題_薬理学の基礎_第8回 中枢神経系に対する作用薬の基礎的問題に解答し、復習を十分行う。	1.0	
試	定期試験				

[専門教育関連科目/健康と健康障害の理解]

総合評価割合(%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		50	30	0	0	20	100
総合力指標	知識・技術力	30	15	0	0	10	65
	思考・推論・創造する力	20	15	0	0	10	35
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	授業の全範囲から出題する。解答は記述式を含み、解を得るための途中経過も評価する。				期末試験の解答と解説を配布し、フィードバックとする。
	②	✓					
	③	✓					
レポート	①	✓	1回目から3回目までの講義では、事前にメールで課題を送信する。受け取ったメールに解答を記載し返信すること。4回目から8回目までの講義では、Microsoft Teamsにより課題を出すので、Microsoft Teams 経由で提出すること。				解答・解説を公開する。Microsoft Teamsにより意見交換を行う。
	②	✓					
	③	✓					
成果発表	①						
	②						
	③						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
その他	①	✓	授業中に問題を出題する。Microsoft Teams 経由で提出された解答を評価対象とする。				Microsoft Teams による授業時間内に問題の解き方・考え方を解説
	②	✓					
	③	✓					
備 考							
Microsoft Teamsを使った同時双方向授業を行います。また、課題のダウンロード、提出には電子メールを使用します。通信容量制限がある場合は通信量に十分に注意してください。今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によっては再度シラパスの変更があります。							